

「25条集会」に参加された方の感想を紹介します(⑤)。

後藤 昭治 (77才・厚別区)



戦後初めて
の「生活保護
充実 25条
守れ」の大集
会。全国から
4000人を
超える人々が参加され、場内立
ち見、そして暖かさと熱意で雲
一つさえもない日本晴れのもと
で開催されました。

私も北海道より原告団長とし
て原告、世話人、弁護士、総勢
30名で参加することができま
した。これ一重に皆様方の暖か
い、行為の賜物と厚くお礼申し
上げますとともに、多くの団体、
多くの個人の方々、全国の著名
人の方々のご努力によって開催
することが出来たことに対して
敬意を表します。

「朝日訴訟」を闘った朝日茂
さんの養子になり、訴訟を継承
した朝日健二さんが亡くなり、
心から冥福をお祈り申し上げま

す。この集会が生活保護制度が
始まって以降、最大規模である
ことの報告を受けました。深刻
な貧困状況を改めるには、貧困
の原因に合わせた最低賃金の大
幅引き上げ、基礎年金の引き上
げ、医療費自己負担の引き下げ、
生活保護の充実こそが必要であ
り、憲法9条が骨抜きにされ、
憲法25条がまた、(骨抜きに)
されかかっている。憲法無視の
今の政府を倒すために、力を合
わせ、取り戻すために闘って行
かなければなりません。

当事者の訴えで「新・人間裁
判」の原告団長として仲間とと
もに4000名を超える方々を
前にしての壇上での報告。そし
て、激励のかけ声、拍手、歓声、
「そうだ頑張れ！」の声。この
報告を訴えた私の一生の宝物と
して、胸に大切に保存し、今後
の裁判闘争のエネルギーの一部
として、小出しにして燃焼致し
ます。

集会後のパレード第一梯団4
50人が「新・人間裁判原告」
と記しているタスキを肩にかけ

て、夕方のラッシュ時近くに、
赤色回転灯が回るパトカーを先
頭に宣伝カーが出る。シユブレ
ヒコールで出た声が大きなビル
にはね返り、東京の銀座通りに
より大きく高く聞こえる。まる
で天下を取ったような錯覚に陥
る満足感で、すがすがしい気持
ちで、二度はないと、もうでき
ないと思わずにはいられません
でした。私は、「人間らしく生き
たい」10・28生活保護アクシヨ
ン・日比谷「25条大集会」を
突破口として、社会保障・生活

保護では、老齢加算の廃止・生
活扶助費や住宅扶助費の引き下
げ・北海道では一人世帯で一冬
2万8千円も引きさがる冬季加
算。冬の北海道、命を守
るために生活扶助費を暖
房費にあてないと寒さで
命を奪われかねない、国
はなんとむごい仕打ちを
するのか、腹が立つ。怒
りです。どうすればよいか？

2015年11月17日
には全道で1000件を
超える不服審査請求を北



会場に到着。まずは
腹ごしらえ

北海道知事に対して提出する予定
であり、多くの道民のご協力を
切にお願い致します。

生活保護法は人間によって作
られ、憲法25条によって守られ
保障されていますが、今は人間
によって破壊されそうに危うく
なってきたております。保障・権
利は、私達が闘って守られなけ
ればなりません。「新・人間裁判」
もこの集会で世論に、そしてネ
ットで日本全国に配信されたこ
とに感謝の思いでいっぱいです。
ともに努力して、少しでも前進、
「権利は闘ってこそ前進する」
この集会が多くの実りになるよ
うに願って感想文とします。

ふくしの窓

<2015年11月08日 第965号>

北海道生活と健康を守る会連合会(道生連)
札幌市西区八軒8条東5丁目4-18
☎ (011) 736-1722
FAX (011) 736-1688
メールアドレス: doseiren@joy.ocn.ne.jp